

# 京急川崎駅周辺地区 まちづくりニュースレター

第5号



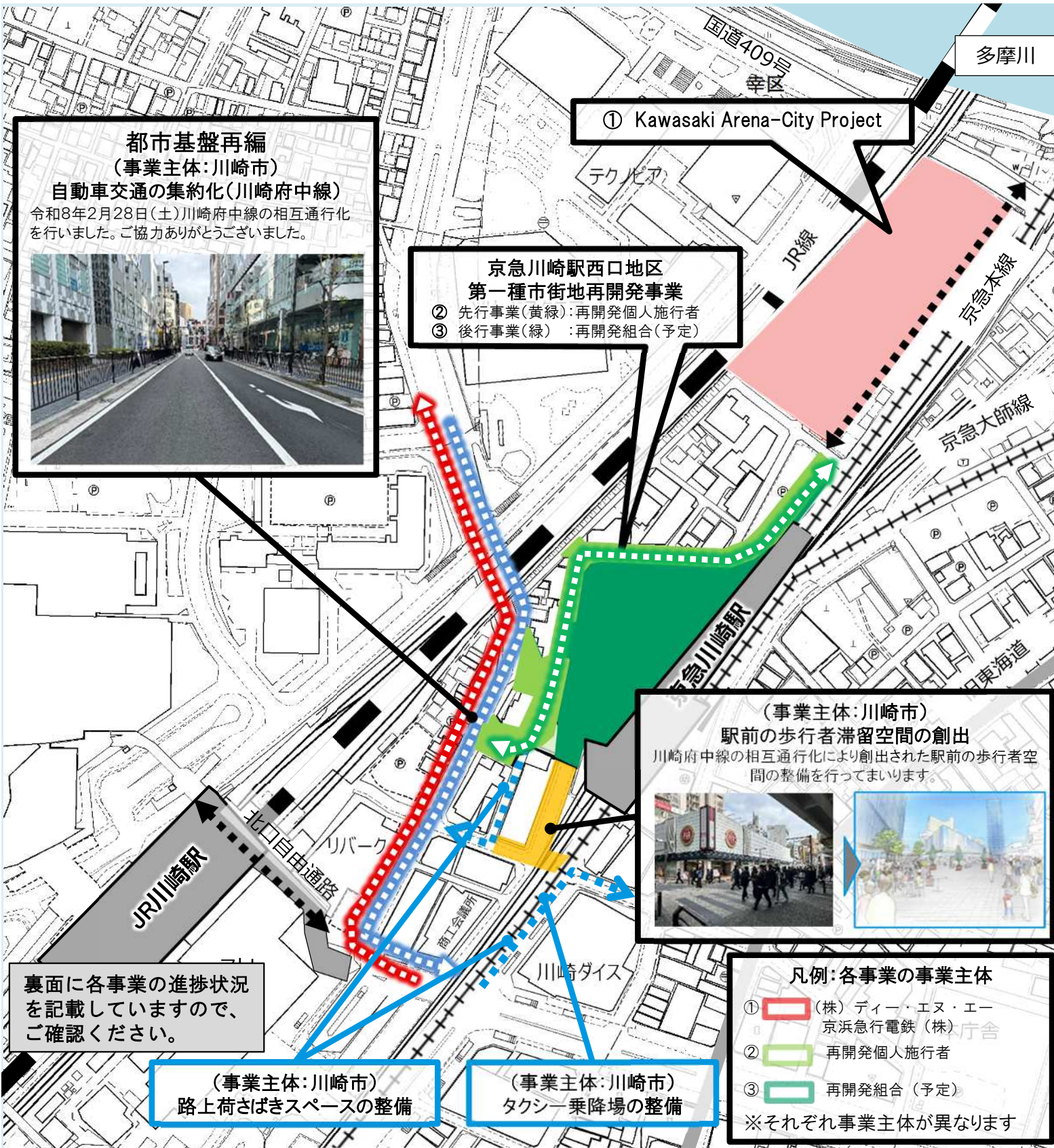
KAWASAKI CITY

発行日：令和8年5月  
発行者：川崎市まちづくり局  
拠点整備推進室

「川崎府中線が相互通行化されました。  
京急川崎駅周辺のまちづくりに引き続き取り組んでまいります」

京急川崎駅周辺地区は、本市の広域拠点として、羽田空港に直結するなどの地理的優位性を活かし、川崎の玄関口にふさわしいまちづくりを官民連携のもと推進しています。

京急川崎駅周辺では、幹線道路の自動車交通を集約し駅前にゆとりと賑わいを生む滞留スペースを確保するため、令和8年2月28日（土）に川崎府中線の相互通行化を行いました。また、アリーナシティ・プロジェクトや市街地再開発事業においても、新しい情報を地域の皆様にお知らせするため、「まちづくりニュースレター第5号」を発行いたしました。引続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



# 京急川崎駅周辺地区の基盤再編について～ウォーカブルなまちづくりを目指して～

■令和8年2月28日（土）の相互通行化後も京急駅前の横断防止柵の撤去など、段階的な整備を実施しています。令和8年度については、歩道橋撤去や擁壁工事、相互通行化により創出された駅前の歩行者空間の整備などを行ってまいります。



▲相互通行化前



▲現況



▲歩道橋撤去・擁壁工事\_イメージ

## Kawasaki Arena-City Project(カワサキ アリーナシティ プロジェクト)

■（株）ディー・エヌ・エーと京浜急行電鉄（株）が、まちと調和したアリーナシティ開発として、新アリーナが令和9年中着工、令和12年10月に開業予定であることに加え、ルーフトップパークの開発、多摩川河川敷の整備・開発と連携することを公表しました。また、まちの賑わいや魅力の向上、持続可能な社会の実現に向け、様々なパートナー企業と連携・共創しアリーナシティを舞台に社会課題の解決に挑む「Kawasaki 2050 Model」が開始されました。

■令和8年度は、道路拡幅工事および既存建築物の解体工事を実施します。

■今後の工事スケジュール（予定）

- ・道路拡幅工事、KDX川崎駅前本町ビル解体工事：令和8年4月～令和9年7月
- ・アリーナ新築工事：令和9年中～令和12年度



▲アリーナ敷地現況



▲アリーナシティ開発 イメージビジュアル



▲ルーフトップパーク開発 イメージビジュアル

## 京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業

■川崎府中線の相互通行化を受け、周辺的生活動線の確保に向け、再開発事業を2事業化し必要な都市施設と道路の先行整備を行います。

■先行事業については、令和8年3月末に事業認可し、道路の整備着手に向け、建物の解体や再開発事業の手続きを進めます。

■後行事業については、昨今の建設業界の資材高騰等の状況を踏まえ、事業計画の精査に時間を要する見通しです。

※なお、カワサキアリーナシティプロジェクト及び再開発事業（先行事業）における基盤整備に向けて、令和8年度中に京浜急行電鉄（株）がヨドバシカメラ及び立体駐車場の解体に着手する予定です。

【参考】全体スケジュール（予定）

	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10以降 (2028～)
アリーナシティPJ	KAWASAKI SPARK	道路拡幅工事・KDXビル解体工事	アリーナ新築工事	R12年10月開業
再開発先行事業	事業計画の検討 先行事業の認可	手続き	区域内の道路整備着手	
再開発後行事業		既存建物の解体(再開発事業外)、 〔ヨドバシカメラ、立体駐車場〕	事業計画の精査	
基盤整備	相互通行化工事	擁壁築造工事	歩道橋撤去	駅前本町歩道化工事等

### 過去のニュースレター

昨年度配布したニュースレターを含めた「京急川崎駅周辺のまちづくり」については、下記HPで確認することができます。



お問合せ先

川崎市まちづくり局拠点整備推進室

MAIL : 50kyoten@city.kawasaki.jp TEL : 044-200-3021

ご不明点、ご意見、ご質問は、上記連絡先までお問合せください。

ご説明に伺うことも可能ですので、お気軽にお問合せください。